

# 2020年度第3四半期 財務関連資料

2021年2月19日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

# P/Lの概要

(億円)	19/3Q迄	20/3Q迄	YoY		進捗率	20/3Q	20/2Q比
1 連結粗利益+ETF関係損益等*	15,178	16,218	+1,039			5,284	△ 67
2 連結粗利益	15,125	16,195	+1,069			5,072	△ 355
3 資金利益	5,549	6,496	+947			2,094	△ 155
4 役務取引等利益+信託報酬	4,782	5,120	+337			1,652	△ 113
5 特定取引利益+その他業務利益	4,794	4,579	△ 215			1,324	△ 86
6 うち国債等債券損益	900	395	△ 505			△ 57	△ 100
7 営業経費	△ 10,235	△ 10,226	+9	計画		△ 3,413	△ 5
8 連結業務純益+ETF関係損益等*	4,755	6,107	+1,352	7,100	86%	1,912	△ 79
9 連結業務純益	4,702	6,084	+1,381			1,700	△ 367
10 連結コア業務純益(9-6)	3,801	5,689	+1,887			1,757	△ 266
11 与信関係費用	△ 244	△ 981	△ 737	△2,000	49%	△ 169	+252
12 株式等関係損益-EETF関係損益等*	921	△ 330	△ 1,252	0	-%	174	+663
13 株式等関係損益	973	△ 308	△ 1,282			386	+951
14 持分法による投資損益	241	171	△ 70			55	△ 1
15 その他	△ 245	△ 362	△ 116			△ 119	+47
16 経常利益	5,615	4,488	△ 1,126	4,600	97%	1,812	+890
17 特別損益	△ 77	695	+773			37	△ 613
18 税金等調整前当期純利益	5,537	5,184	△ 353			1,850	+277
19 法人税等	△ 1,408	△ 1,595	△ 187			△ 435	+189
20 非支配株主に帰属する当期純損益	△ 89	△ 44	+44			△ 26	△ 9
21 親会社株主純利益	4,039	3,544	△ 495	3,500	101%	1,388	+457

\* 19/3Q迄 52億円、20/3Q迄 22億円、20/3Q単独 212億円(20/2Q対比+287億円)

# カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、管理会計

	業務粗利益 *1		経費 (除く臨時処理分等) *2		業務純益 *1		四半期純利益 *1		ROE
	20/3Q迄	YoY *3	20/3Q迄	YoY *3	20/3Q迄	YoY *3	20/3Q迄	YoY *3	20/3Q迄
リテール・事業法人	4,738	△97	△4,740	+273	34	+154	52	+128	0.5%
大企業・金融・公共法人	3,421	+178	△1,554	+46	1,900	+244	775	△926	4.7%
グローバルコーポレート	3,324	+226	△1,820	△21	1,587	+204	919	△211	8.7%
グローバルマーケット	4,225	+954	△1,575	△35	2,643	+921	1,758	+564	14.6%
アセットマネジメント	362	△27	△238	+9	73	△18	33	△11	3.8%
FG連結	16,218	+1,039	△10,190	+315	6,107	+1,352	3,544	△495	6.0%

\*1: GMCには2行合算のETF関係損益、FG連結にはETF関係損益等を含む \*2: 経費(除く臨時処理分)一のれん等償却 \*3: 前年同期の計数を20年度管理会計ルールに組み替えて算出

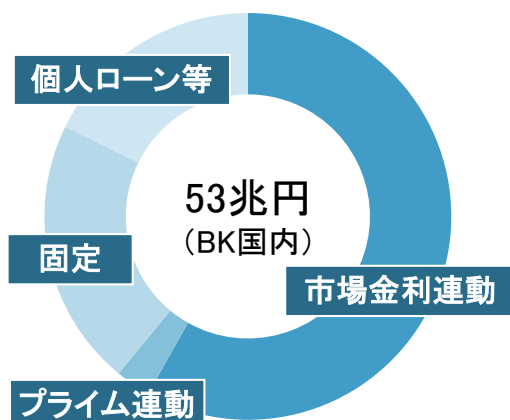
# B/Sの概要(2020年12月末)

連結、( )内は20/3末比

総資産：217兆円 (+3.2兆円)

リスクアセット：66兆円 (+3.9兆円)

## 円貨貸出金<sup>\*1</sup>



日銀当座預金(2行合算):  
35兆円 (+3.7兆円)

## 貸出金

83兆円 (+0.1兆円)

円貨 <sup>*1</sup>	55兆円
外貨 <sup>*1</sup>	2,780億ドル

## 有価証券

42兆円 (+7.4兆円)

日本国債	20.4兆円
外国債券	12.2兆円
日本株式	3.4兆円

## その他

91兆円 (△4.3兆円)

現金預け金	42.9兆円
-------	--------

## 預金・譲渡性預金

145兆円 (+1.0兆円)

円貨 <sup>*1</sup>	123兆円
外貨 <sup>*1 *2</sup>	2,202億ドル

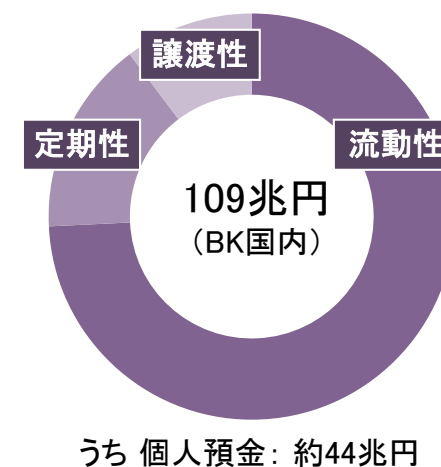
## その他

63兆円 (+1.8兆円)

## 純資産

9兆円 (+0.3兆円)

## 円貨預金<sup>\*1</sup>



レバレッジ比率: 4.95% (+ 0.12%)<sup>\*3</sup>

流動性カバレッジ比率<sup>\*4</sup>:  
138.9% (+3.3%)

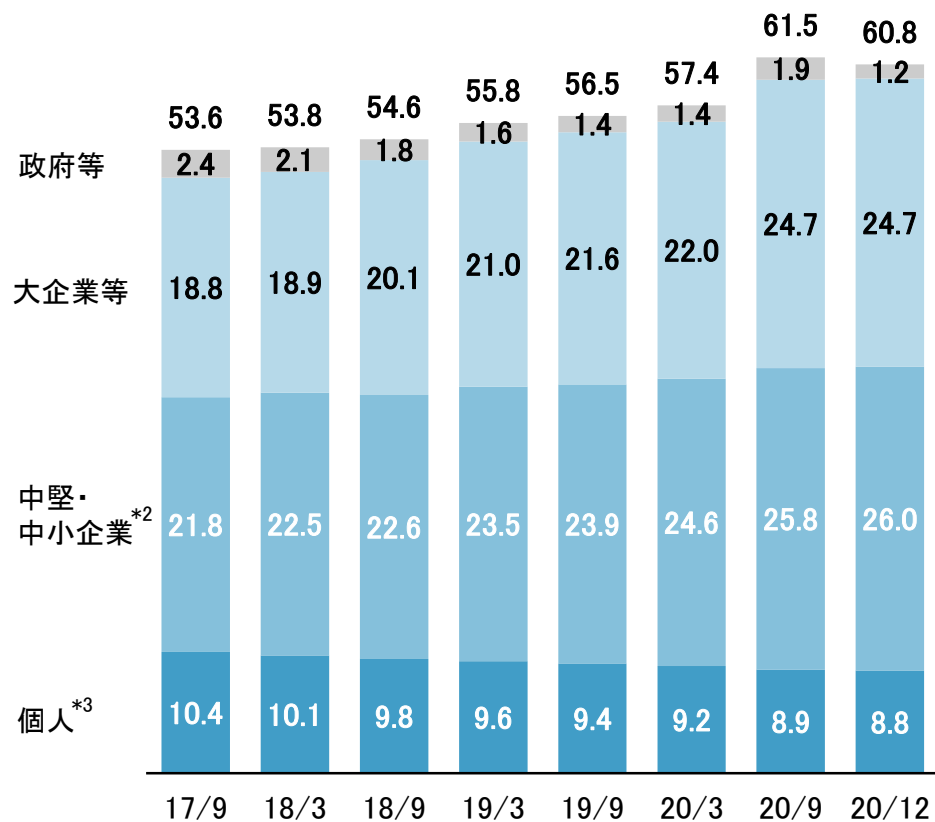
\*1: 内部管理ベース、概数 \*2: 顧客預金 \*3: 金融庁告示改正に伴い、20/6末より総エクスポージャーの額から日本銀行に対する預け金の額を除外(除外前: 20/12末 4.18%) \*4: 20年度3Q実績、( )内は同2Q比

# 国内貸出金

## 残高<sup>\*1</sup> (末残)

2行合算

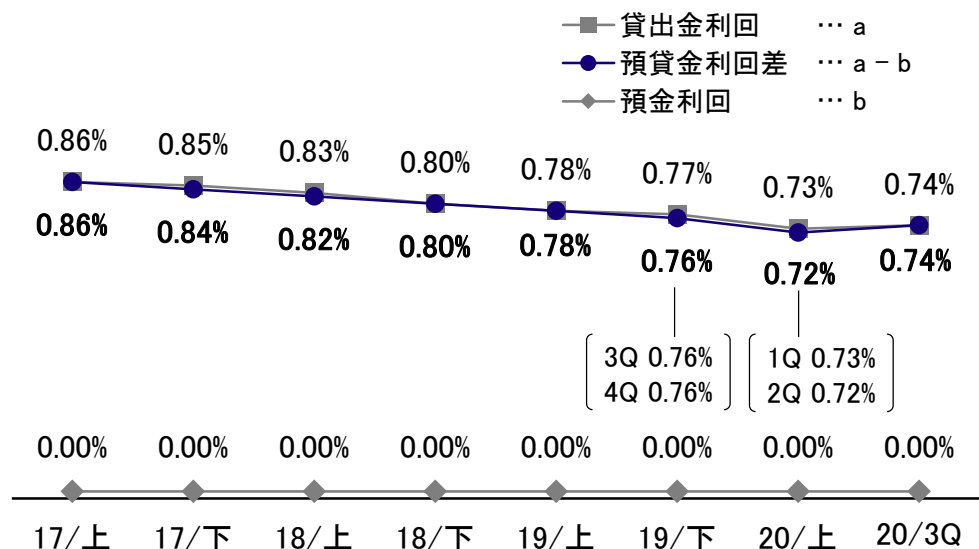
(兆円)



平残	17年度		18年度		19年度		20年度	
	上	下	上	下	上	下	上	3Q
	53.6	53.5	53.8	55.0	56.0	56.4	61.0	61.1

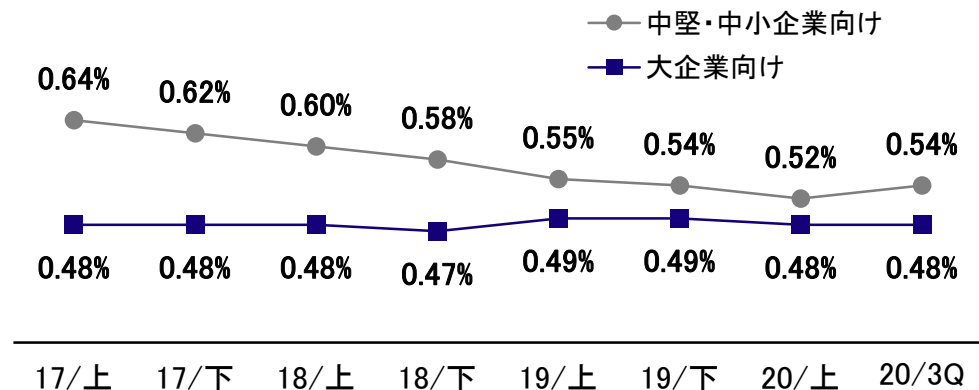
## 預貸金利回差<sup>\*4</sup>

2行合算



## 貸出金スプレッド

BK、管理会計



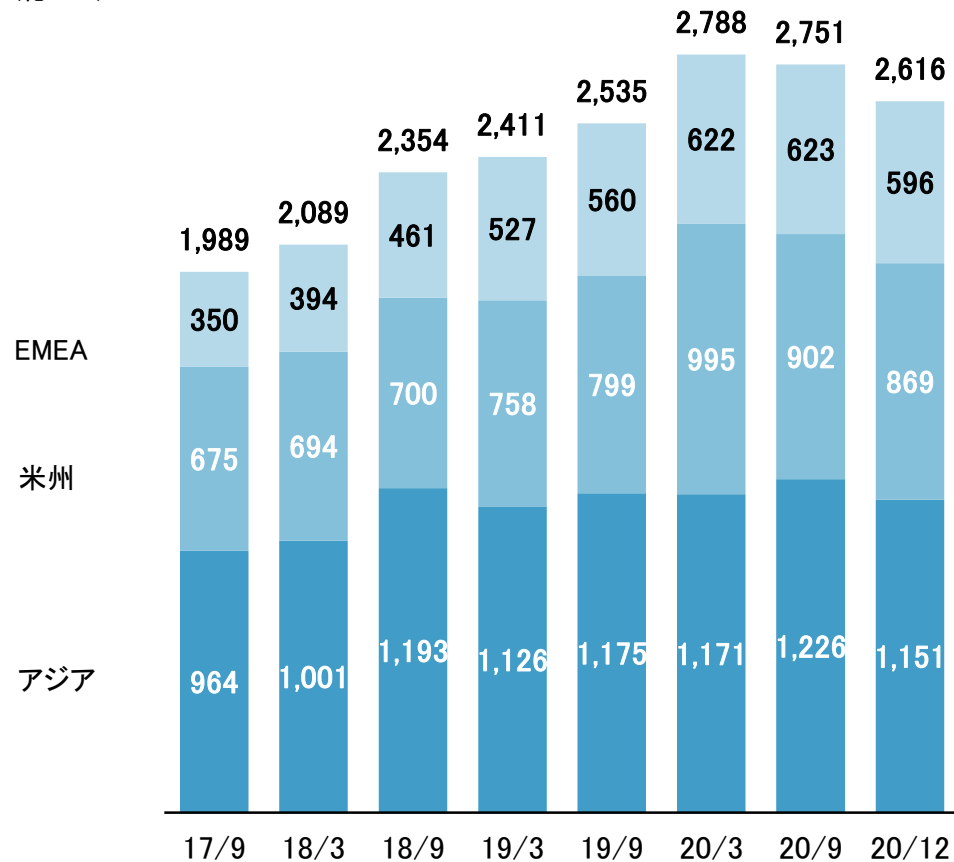
\*1: FG向け貸出金を除く。銀行勘定 \*2: 中小企業等貸出金から消費者ローンを控除した金額 \*3: 消費者ローン残高 \*4: 金融機関向け貸出金 (FGを含む)・政府等向け貸出金を除く。国内業務部門

# 海外貸出金

## 残高<sup>\*1\*2</sup> (末残)

BK、管理会計

(億ドル)

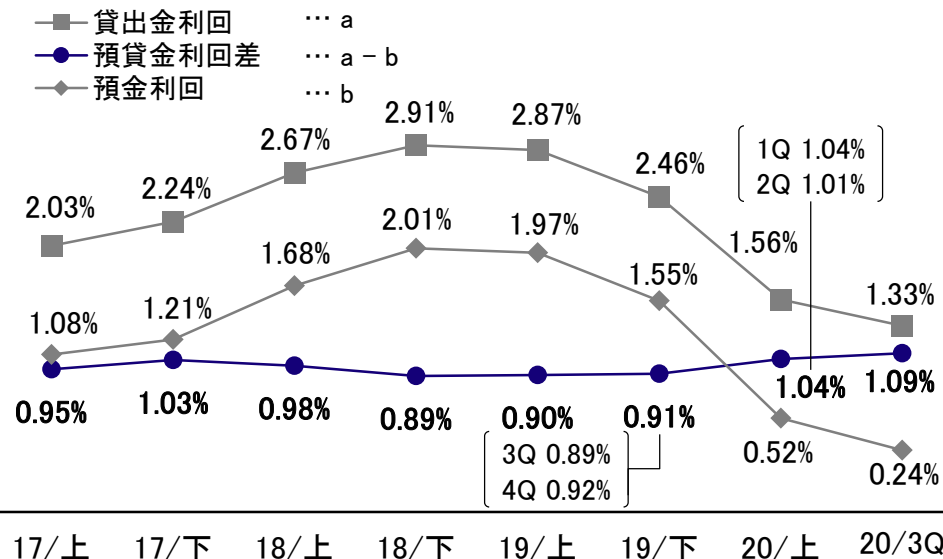


平残

年度	上	下
17年度	2,025	2,074
18年度	2,276	2,440
19年度	2,485	2,600
20年度	2,868	2,682

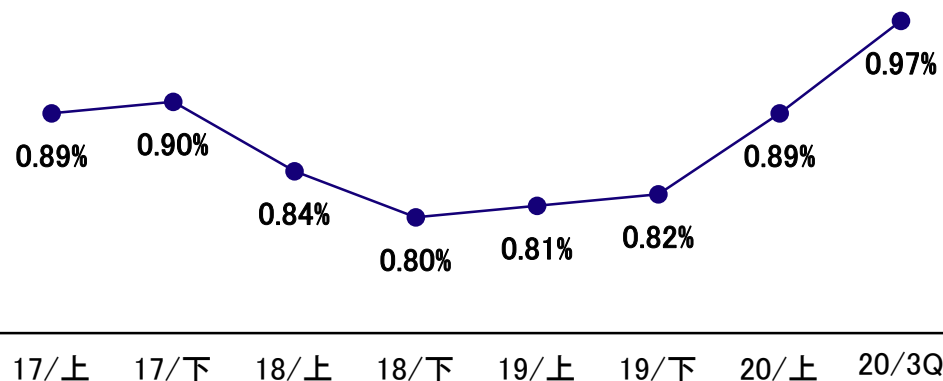
## 預貸金利回差

BK海外店



## 貸出金スプレッド<sup>\*1\*2</sup>

BK、管理会計

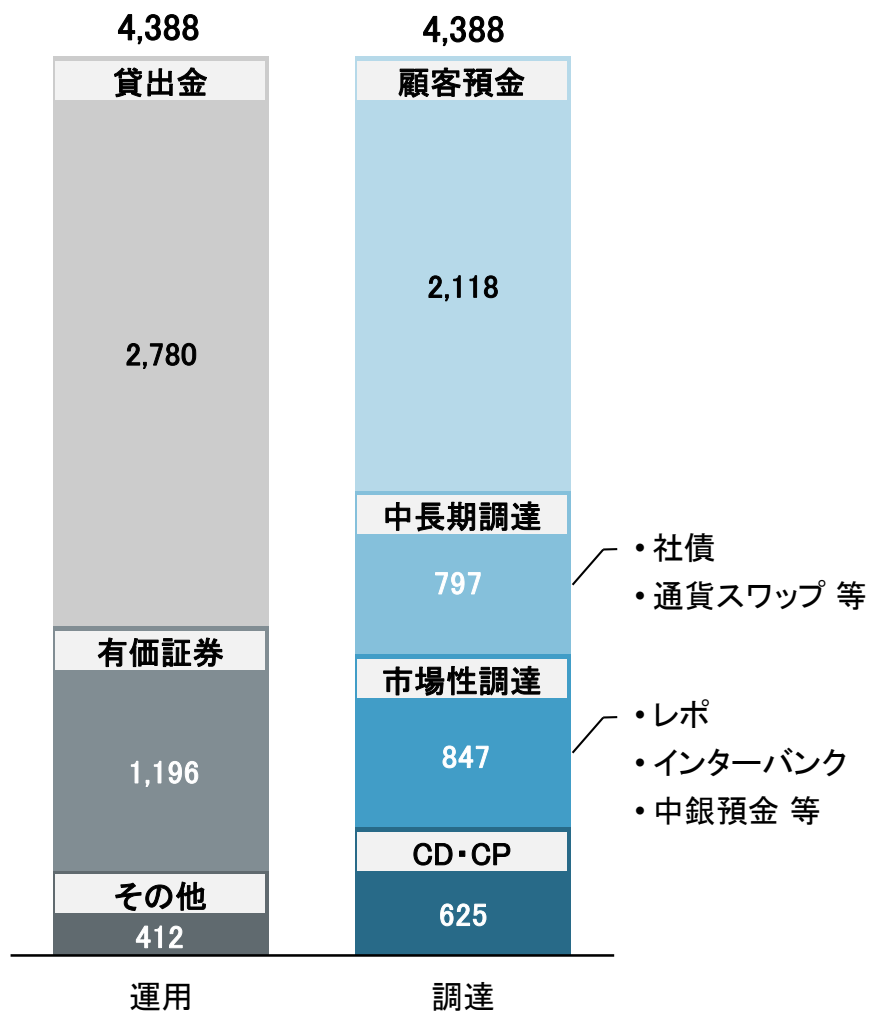


\*1: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) \*2: 過去計数も含め、20年度計画レートにてドル換算

# 外貨ファンディング

## 外貨運用・調達(2020年12月末) BK、\*1 管理会計

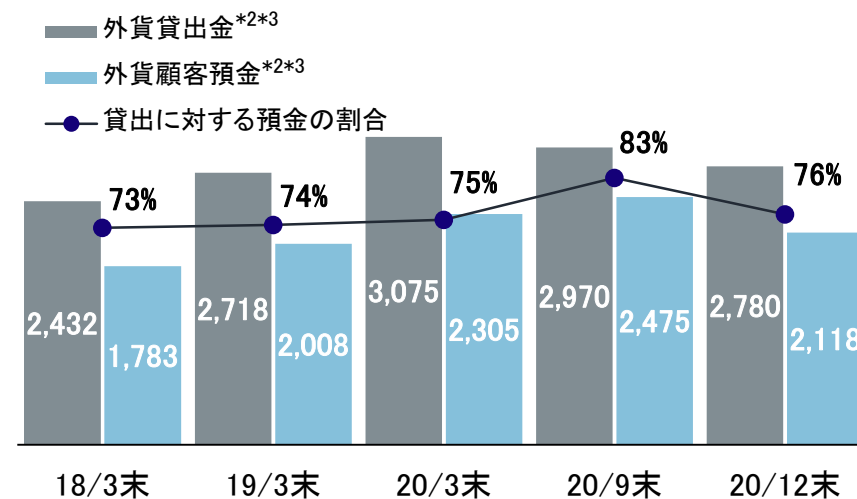
(億ドル)



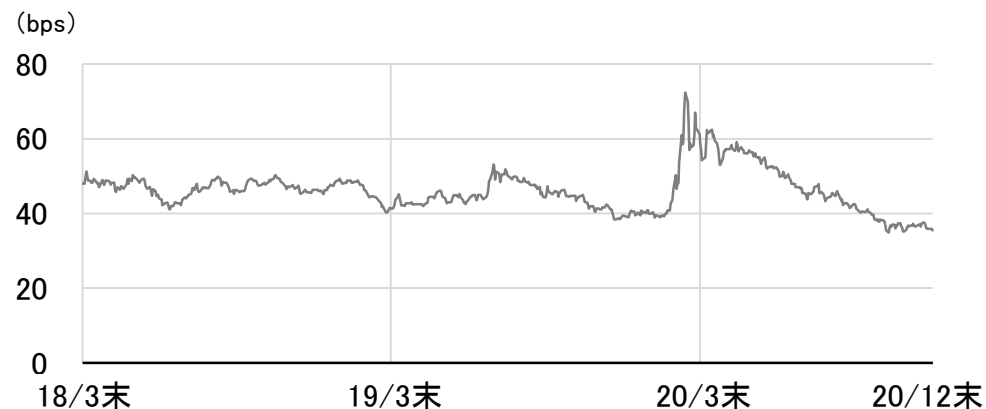
## 外貨預貸の推移 BK、\*1 管理会計

\*1 管理会計

(億ドル)



### 〈参考〉円/米ドルスワップレート(5年)



\*1: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア等現地法人) \*2: 過去計数も含め、20年度計画レートにてドル換算 \*3: 国内を含む

(出所) Bloomberg

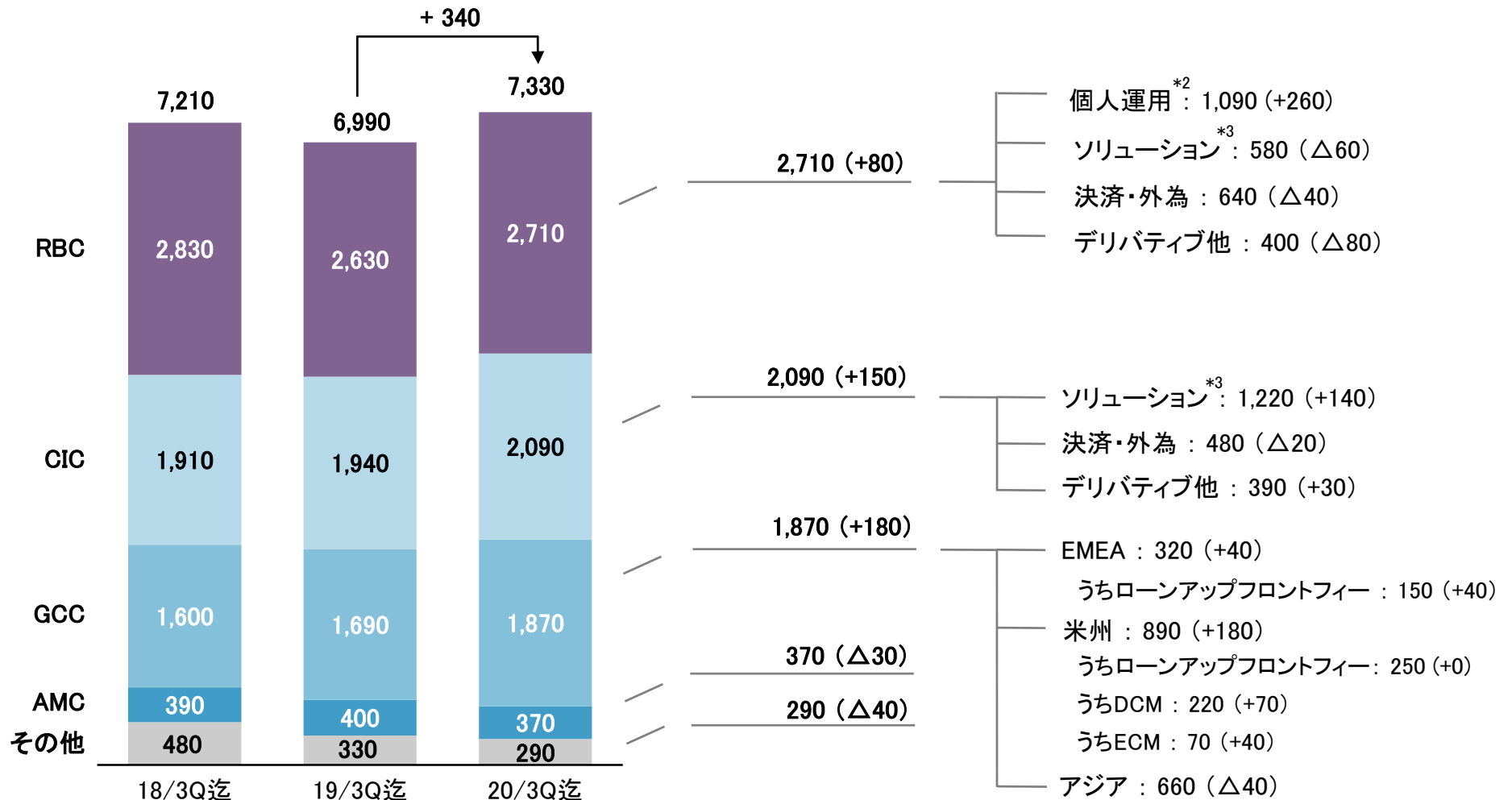
# 非金利収支

## 非金利収支(顧客部門)<sup>\*1</sup>

グループ合算、管理会計(概数)

(億円)

( )内は前年同期比



\*1: 20年度計画レートの適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の実績は、18/3Q迄：7,200億円、19/3Q迄：7,030億円

\*2: BK投信・保険 + SC個人セグメント、PBセグメント \*3: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む



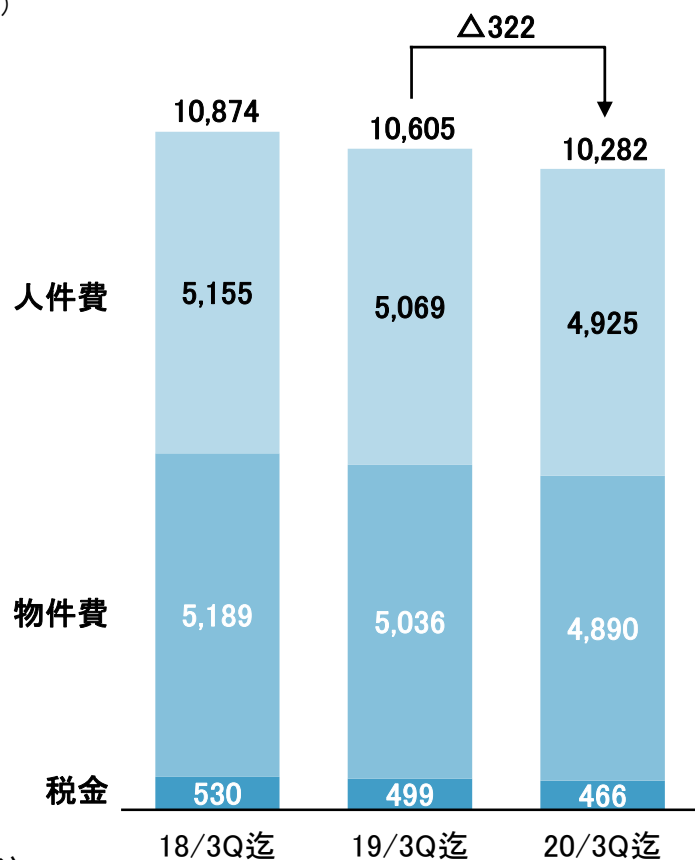
# 経費

## 経費(除く臨時処理分)

連結

(億円)

( )内は前年同期比



新勘定系システム償却等 : (+58)  
 システム保守費等抑制 : (△78)  
 国内物件費抑制等 : (△112)

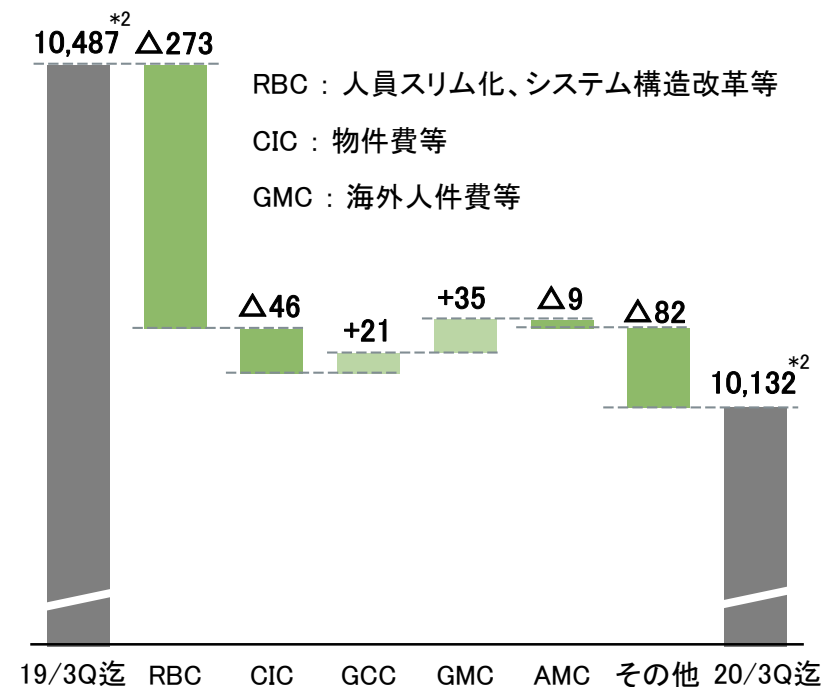
〈参考〉

	18/3Q迄	19/3Q迄	20/3Q迄
営業経費	10,698	10,235	10,226
うち臨時処理分	△176	△369	△55
のれん等償却	101	99	91

## カンパニー別<sup>\*1</sup>

グループ合算  
管理会計

(億円)



	19/3Q迄	20/3Q迄	YoY
RBC	5,014	4,740	△273
CIC	1,599	1,554	△46
GCC	1,799	1,820	+21
GMC	1,540	1,575	+35
AMC	247	238	△9

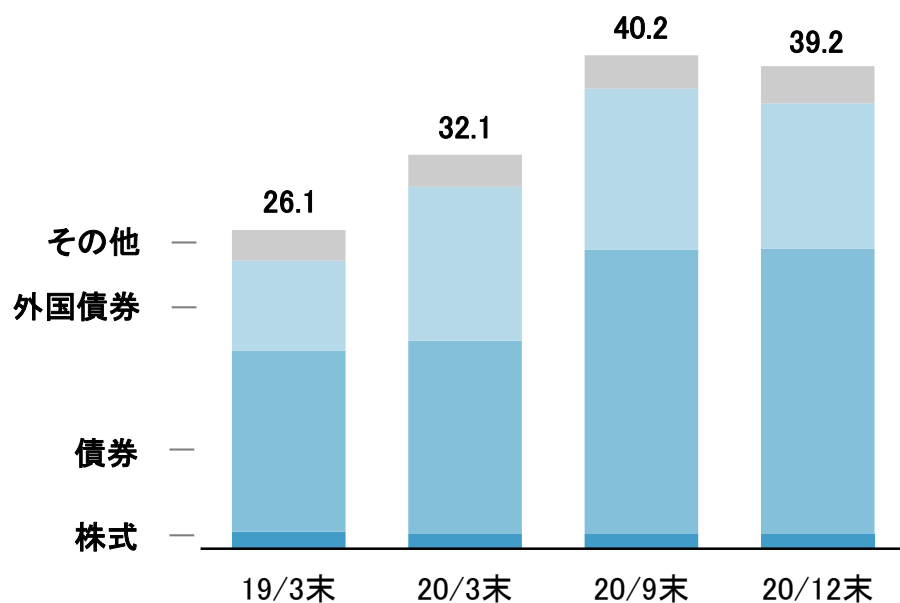
\*1: 経費(除く臨時処理分) - のれん等償却 \*2: 財管差は、集計対象子会社の範囲、内部取引調整等によるもの

# 有価証券ポートフォリオ

## その他有価証券残高<sup>\*1</sup>

連結、取得原価

(兆円)

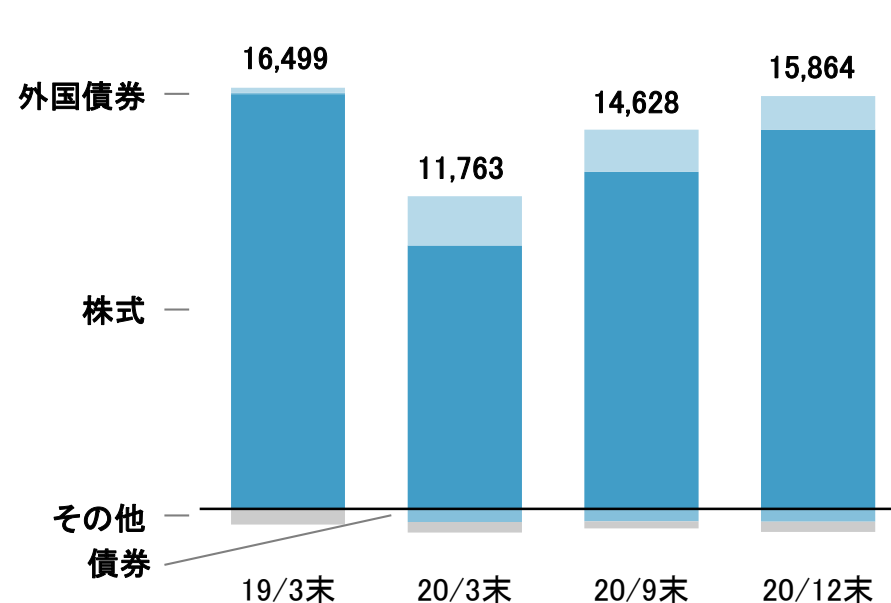


	19/3末	20/3末	20/9末	20/12末
株式	1.4	1.2	1.2	1.2
債券	14.7	15.7	23.1	23.2
うち国債	11.8	12.6	19.9	19.9
外国債券	7.3	12.5	13.1	11.8
うち米国債券 <sup>*2*3</sup>	2.1	8.0	9.0	7.8
その他	2.5	2.6	2.7	3.0
うちベアファンド <sup>*4</sup>	-	0.8	0.8	0.8
うち投資信託等	2.5	1.8	1.9	2.1

## その他有価証券評価差額<sup>\*1\*5</sup>

連結

(億円)



	19/3末	20/3末	20/9末	20/12末
株式	16,876	10,715	13,715	15,433
債券	52	△541	△505	△527
うち国債	59	△440	△446	△446
外国債券	217	2,009	1,715	1,365
うち米国債券 <sup>*2*3</sup>	51	2,344	1,701	1,325
その他	△646	△420	△296	△408
うちベアファンド <sup>*4</sup>	-	862	△465	△1,491
うち投資信託等	△646	△1,282	169	1,083

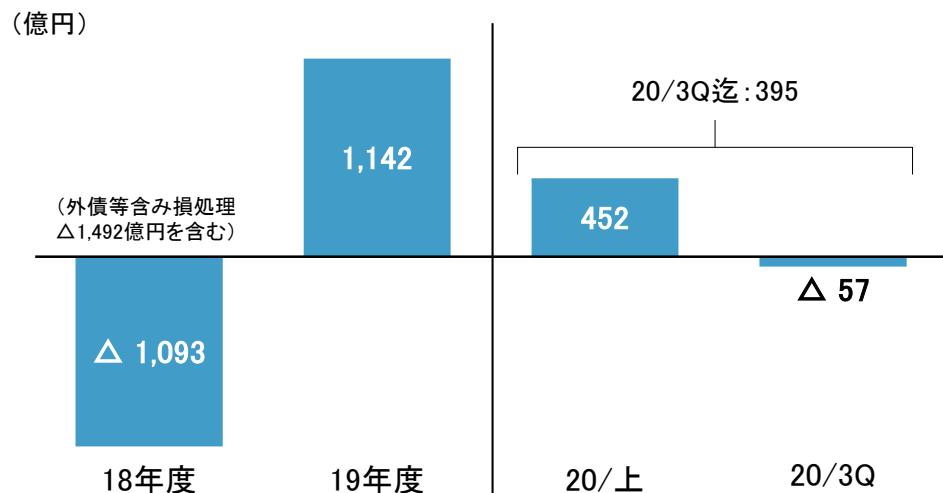
\*1: その他有価証券で時価のあるもの。組合出資分を除く \*2: 米国債・GSE債 \*3: 2行合算 \*4: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分

\*5: 純資産直入処理対象分。20/9末～20/12末: 期末日の時価に基づいて算定、19/3～20/3末: 株式は期末月1か月の月中平均、それ以外は期末日の時価に基づいて算定

# 債券ポートフォリオ

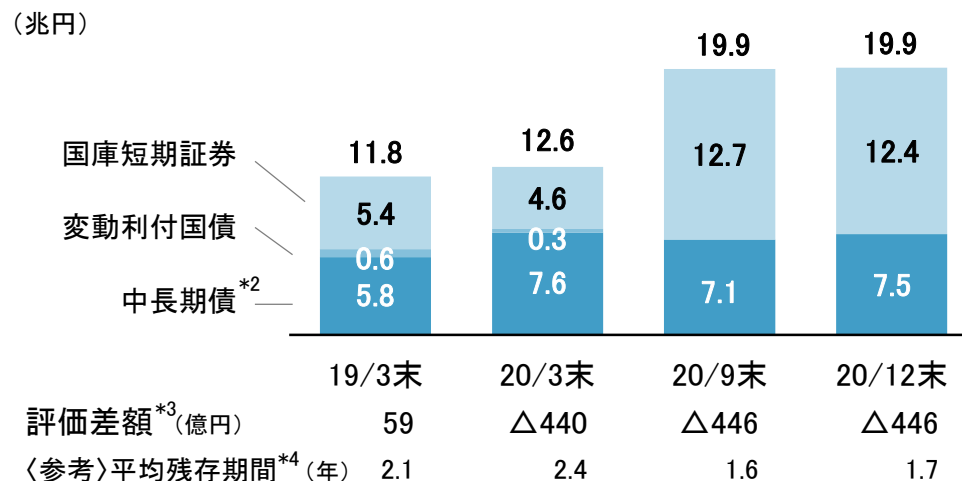
## 国債等債券損益

連結



## 日本国債残高<sup>\*1</sup>

2行合算、取得原価

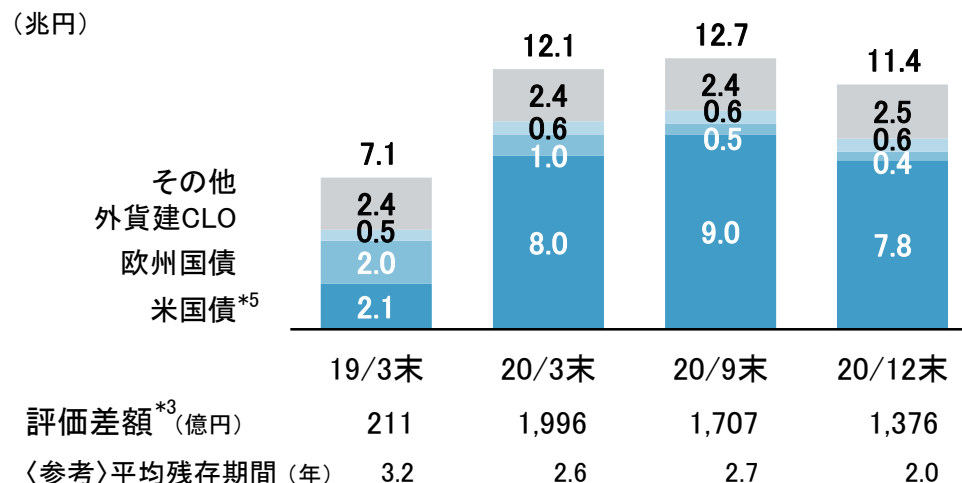


## <参考>内外金利



## 外国債券残高<sup>\*1</sup>

2行合算、取得原価

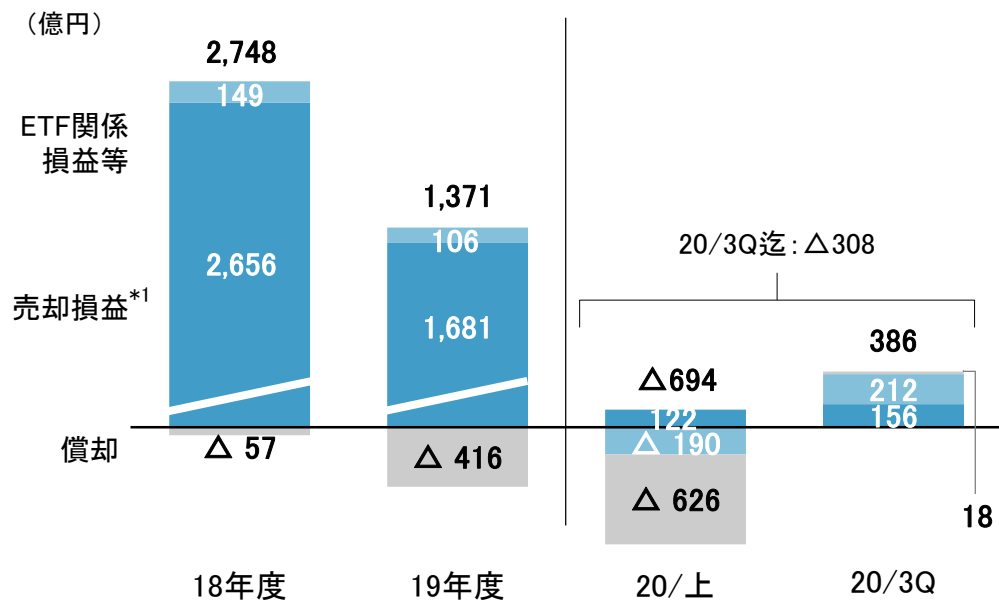


\*1: その他有価証券で時価のあるもの \*2: 残存期間1年以内のものを含む \*3: 純資産直入処理対象分。期末日の時価に基づいて算定 \*4: 除く変動利付国債 \*5: 米国債・GSE債

# 株式ポートフォリオ

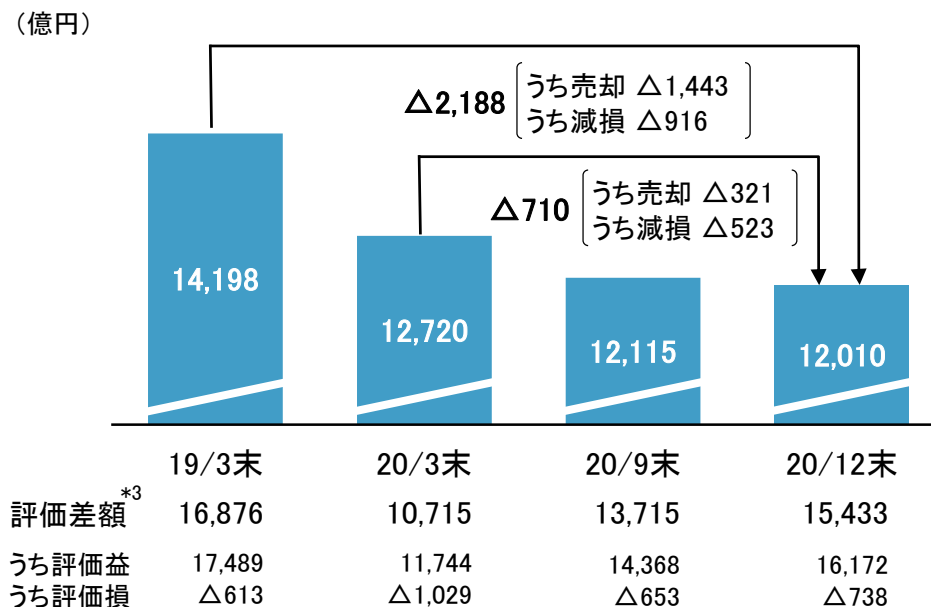
## 株式等関係損益

連結



## 株式残高\*2

連結、取得原価



### <参考> 日経平均株価



### 政策保有株式の削減方針

基本方針

- 株価変動リスクが財務状況に大きな影響を与え得ることに鑑み、保有意義が認められる場合を除き、保有しない
- 保有意義が認められる場合も、対話を通じて、削減に努める

削減計画

目標  
(22/3末迄) **3,000億円削減**  
(19/3末対比)

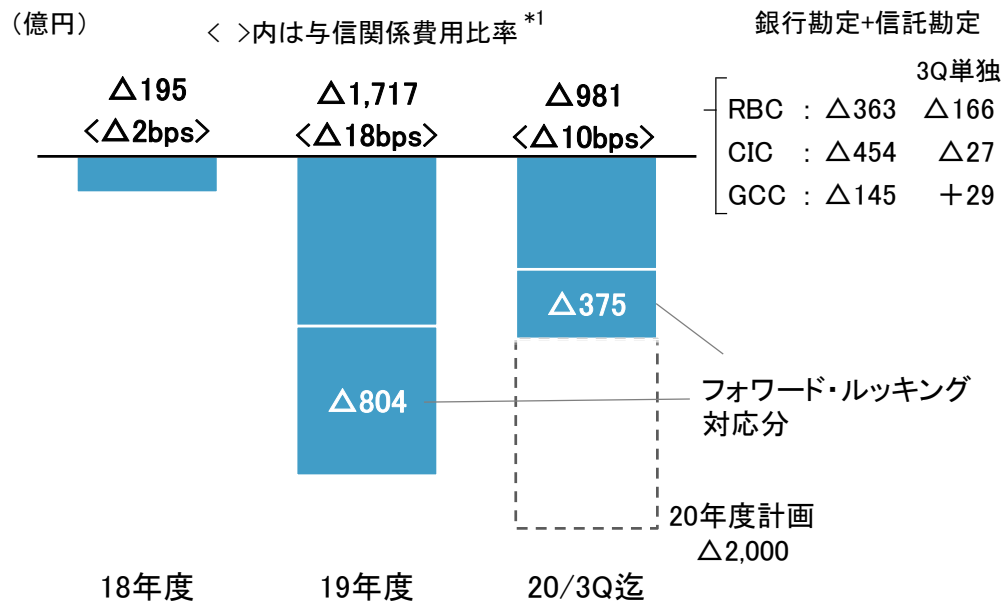
削減進捗 **2,188億円**  
進捗率 **72%**

\*1: 株式売却損益 + 金融派生商品損益 \*2: その他有価証券で時価のあるもの \*3: 純資産直入処理対象分、期末月1ヶ月の月中平均等

# アセットクオリティ

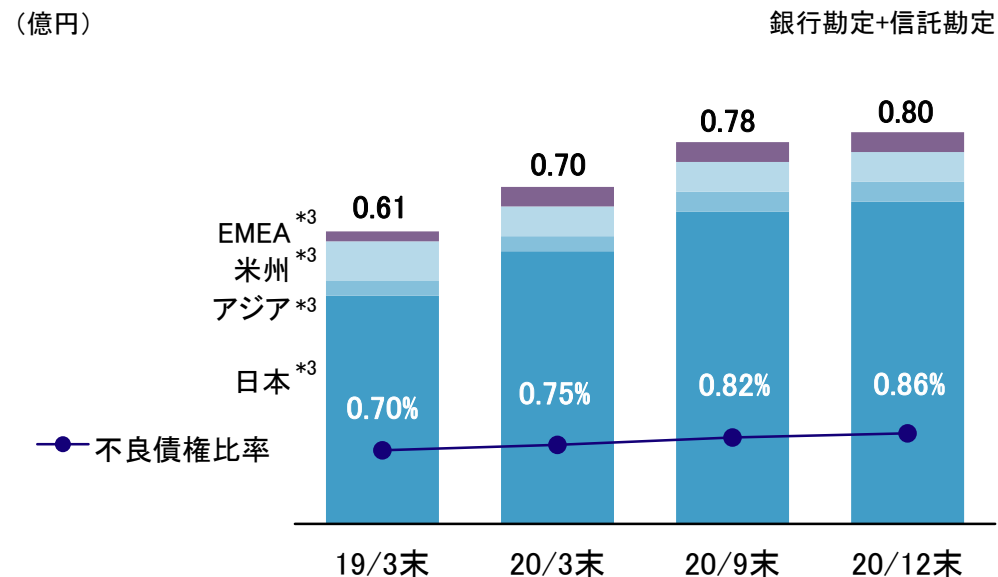
## 与信関係費用

連結

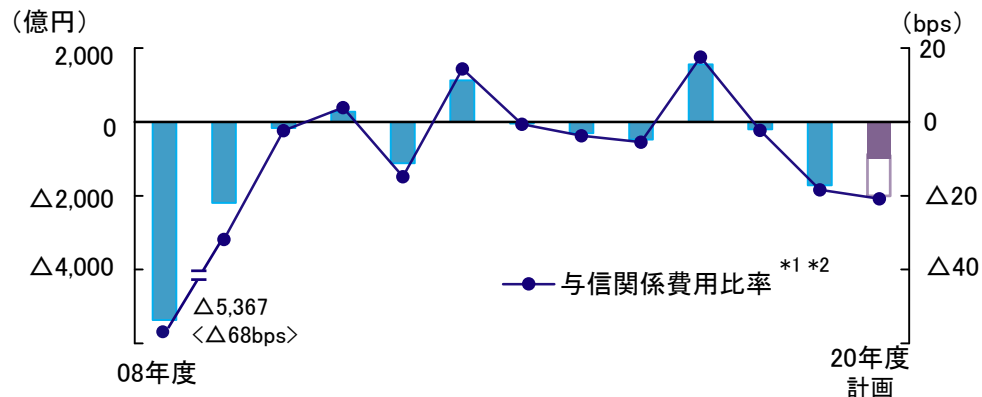


## 金融再生法開示債権

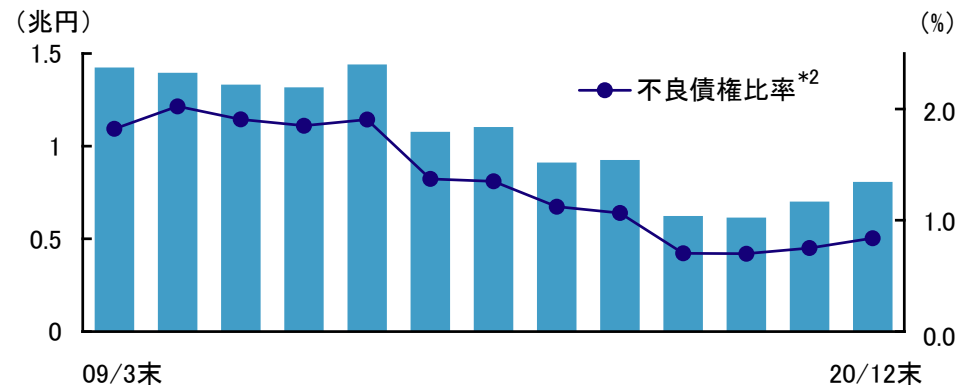
連結



### 参考 過年度推移



### 参考 過年度推移



\*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高(金融再生法開示債権) \*2: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 \*3: 代表主管部店ベース

# 海外貸出ポートフォリオ

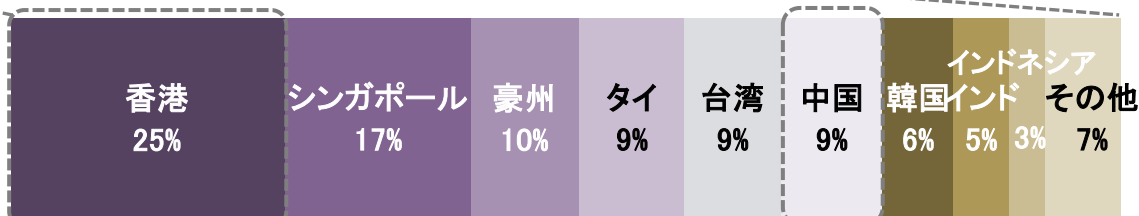
## 海外向け貸出（2020年12月末）

BK、GCC管理ベース

合計 2,616億ドル

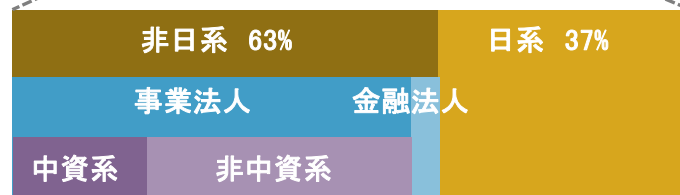
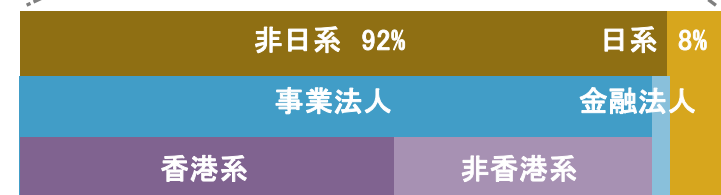


アジア・オセアニア  
1,151億ドル



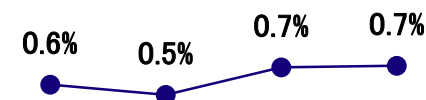
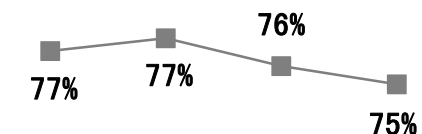
香港285億ドル

中国105億ドル



### 貸出資産の質

- 投資適格相当比率
- 不良債権比率



19/3末 20/3末 20/9末 20/12末

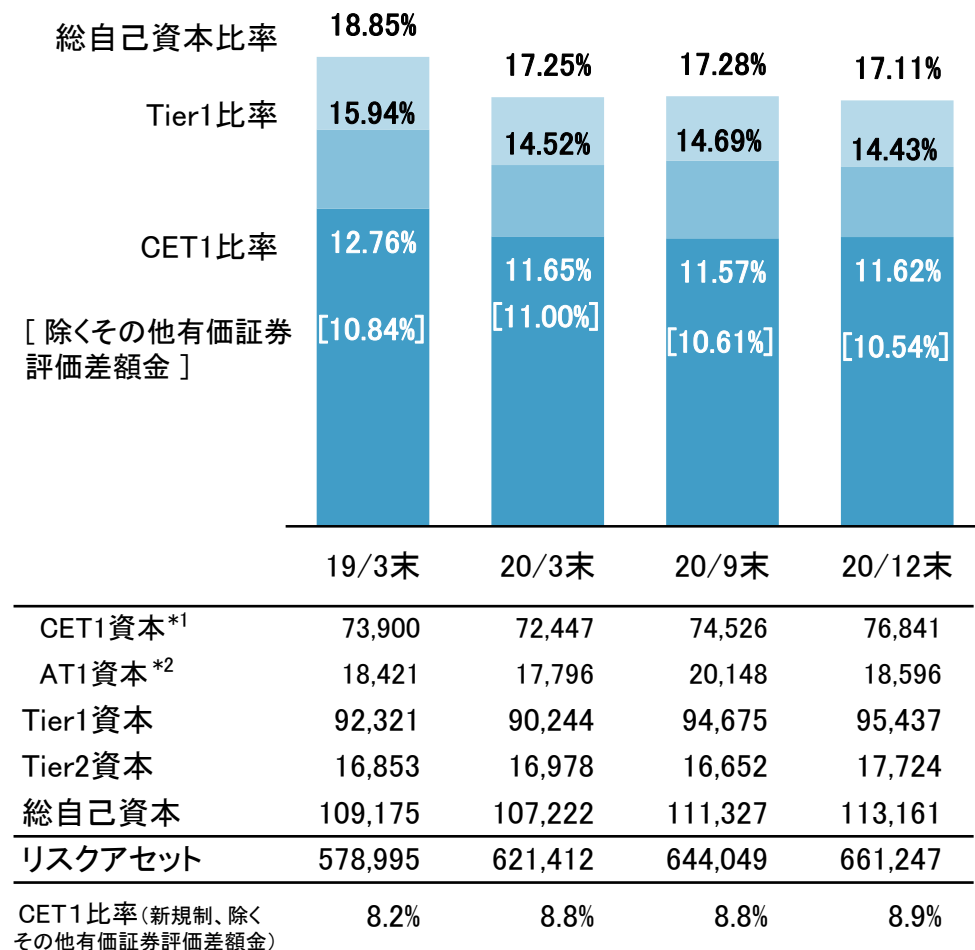
\* 含む海外現地法人

# バーゼル規制関連①

## 自己資本比率

連結

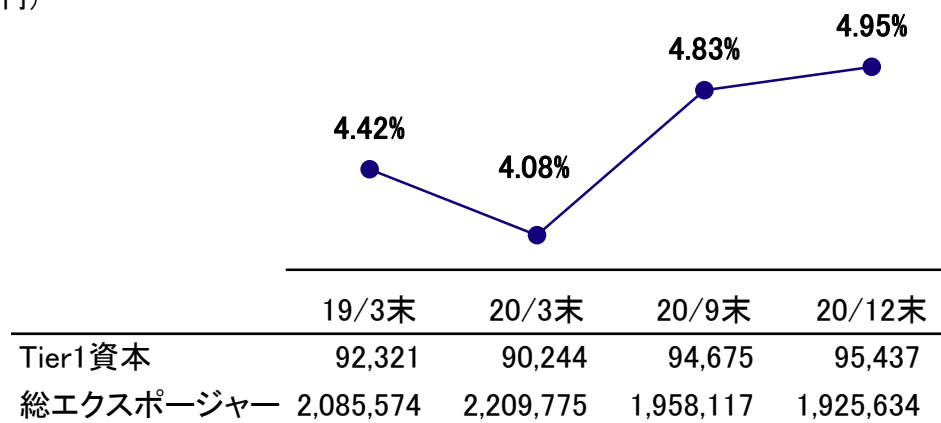
(億円)



## レバレッジ比率<sup>\*3</sup>

連結

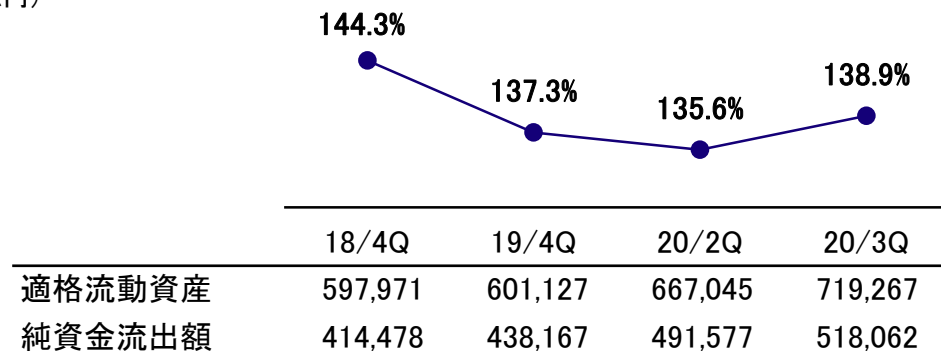
(億円)



## 流動性カバレッジ(LCR)比率

連結

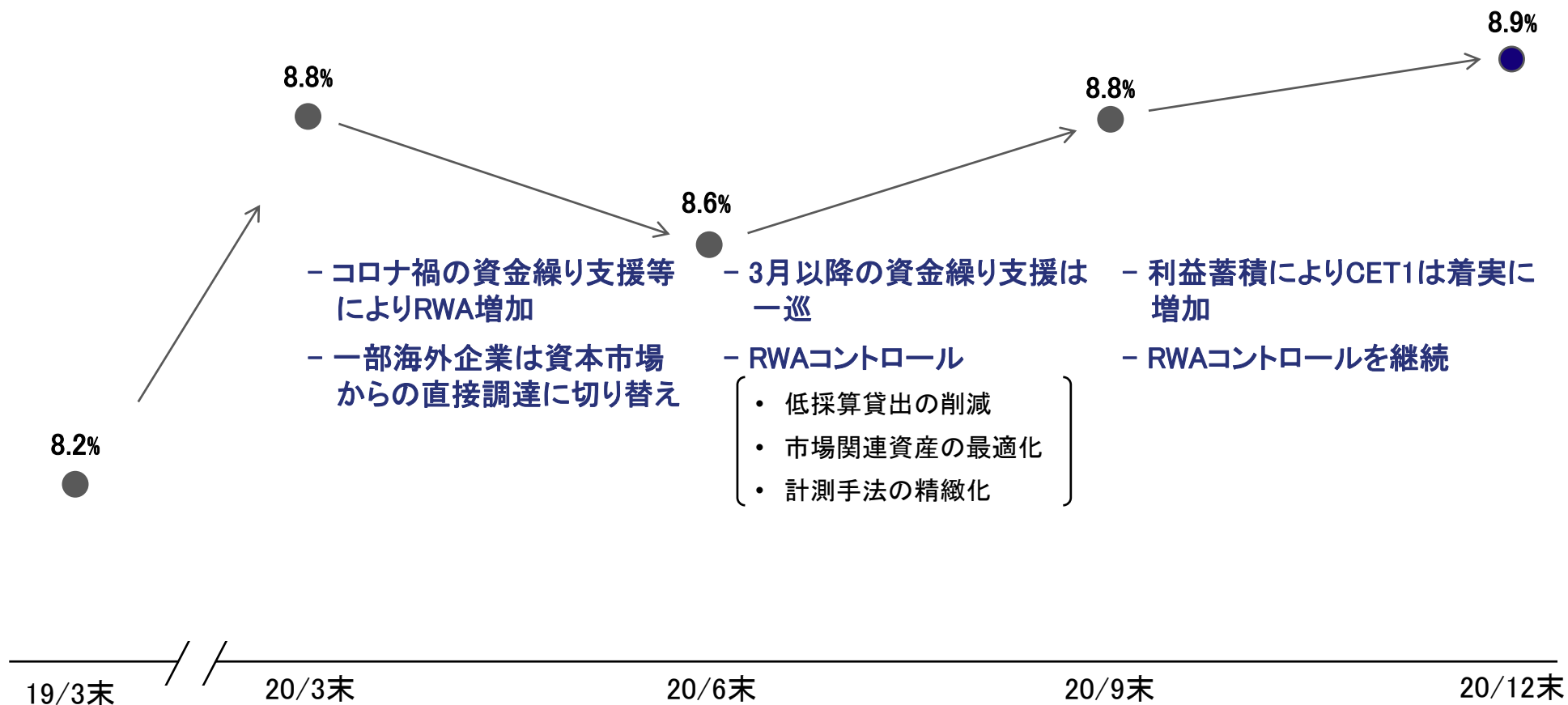
(億円)



\*1: 普通株式等Tier1資本 \*2: その他Tier1資本 \*3: 金融庁告示改正に伴い、20/9末より総エクスポージャーから日本銀行に対する預け金を除外。(除外前:20/9末 4.07%、20/12末 4.18%)

## バーゼル規制関連②

### CET1比率(新規制、除くその他有価証券評価差額金)





# (参考)新型コロナウイルス感染症への対応

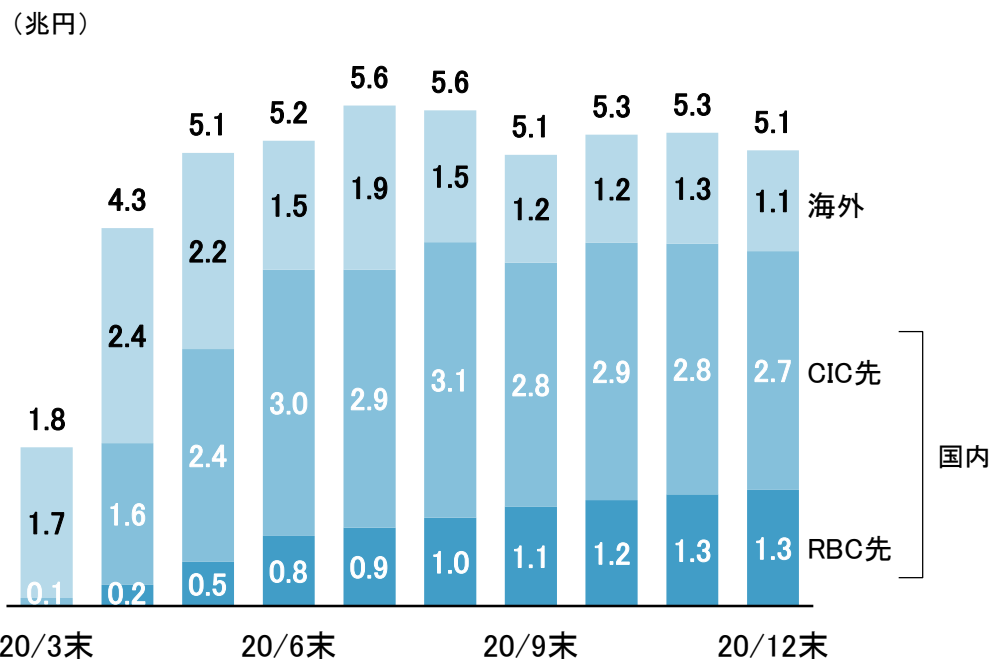
## 金融仲介機能等の発揮

- 銀・信・証連携の強みや産業知見を活かし、アフターコロナを見据えた取引先の事業構造転換をサポート
- 感染再拡大により業況・資金繰りの更なる悪化が想定されるお客さまをしっかりと支援

## 金融インフラとしての事業継続

- 新型コロナ再拡大を踏まえ、感染防止を一層強化しつつ、社会機能維持に不可欠な金融インフラとして業務を継続
- 本部を中心に、自宅や支店等を活用したサテライトオフィス(9カ所)からのリモート勤務やスプリット体制を徹底

新型コロナ関連貸出金残高(末残) 管理会計



\*1: 前年同期(4-12月)対比 \*2: 住所変更、カード・通帳再発行の合計

<店頭における感染防止> BK

従業員の出勤抑制	<b>△50%</b>
タブレット端末による取引完結	<b>全348店舗</b>

<非対面取引の強化> 件数<sup>\*1</sup>

口座開設(アプリ経由)	<b>+73%</b>
投資信託成約(ネット経由)	<b>+40%</b>
諸届(ネット経由) <sup>*2</sup>	<b>+31%</b>

# 本資料における計数、表記の定義

## 組織の略称

FG	: みずほフィナンシャルグループ	RBC	: リテール・事業法人カンパニー
BK	: みずほ銀行	CIC	: 大企業・金融・公共法人カンパニー
TB	: みずほ信託銀行	GCC	: グローバルコーポレートカンパニー
SC	: みずほ証券	GMC	: グローバルマーケットカンパニー
AM One	: アセットマネジメントOne	AMC	: アセットマネジメントカンパニー
IR	: みずほ情報総研	GPU	: グローバルプロダクツユニット
RI	: みずほ総合研究所	RCU	: リサーチ&コンサルティングユニット

## 計数の定義

2行合算	: BK単体+TB単体（財務会計）
グループ合算	: BK、TB、SC、AM One及び主要子会社等の合算（管理会計）
カンパニー管理ベース	: 各カンパニーが集計した計数（管理会計）
連結業務純益	: 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整
カンパニー別業務純益	: 業務粗利益－経費（除く臨時処理分等）+持分法による投資損益－のれん等償却
ETF関係損益等	: ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）
親会社株主純利益	: 親会社株主に帰属する当期純利益
内部リスク資本	: 規制上のリスクアセット（RWA）、バンキング勘定の金利リスク等に基づき算出されたリスク資本（管理会計）
連結ROE	: 当期純利益÷（株主資本+その他の包括利益累計額（その他有価証券評価差額金を除く））
カンパニー別ROE	: 当期純利益÷各カンパニーの内部リスク資本
CET1比率（現行規制、除くその他有価証券評価差額金）	: 分子のCET1資本からその他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益、 分母のRWAからその他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスクアセットをそれぞれ 控除。ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む
CET1比率（新規制、除くその他有価証券評価差額金）	: 新規制完全適用ベース。上記調整に加え、資本フロアについては、標準的手法によるリ スクアセットから引当金見合いを控除して算出

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において入手可能な情報並びに事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに影響を与える不確実な要因に係る本資料の作成時点における仮定（本資料記載の前提条件を含む。）を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

また、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性等が含まれております。これらのリスクや不確実性の原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響、与信関係費用の増加、株価下落、金利の変動、外国為替相場の変動、保有資産の市場流動性低下、退職給付債務等の変動、繰延税金資産の減少、ヘッジ目的等の金融取引に係る財務上の影響、自己資本比率の低下、格付の引き下げ、風説・風評の発生、法令違反、減損リスク、事務・システムリスク、日本及び海外における経済状況の悪化、規制環境の変化その他様々な要因が挙げられます。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書（ディスクロージャー誌）等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出したForm20-F年次報告書等の米国開示書類等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

当社は、東京証券取引所の定める有価証券上場規程等により義務付けられている場合を除き、新たな情報や事象の発生その他理由の如何を問わず、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しを常に更新又は改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

本資料は、米国又は日本国内外を問わず、いかなる証券についての取得申込みの勧誘又は販売の申込みではありません。

## 為替レート

### 財務会計（期末TTM）

	19/12末	20/3末	20/12末
USD/JPY	109.55	108.83	103.52
EUR/JPY	122.51	119.65	126.99

### 管理会計（修正計画）

	20年度
USD/JPY	107.00
EUR/JPY	126.36